

北九州市立大学 データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシー)
2025 年度(令和 7 年度)自己点検・評価の結果

本教育プログラムの自己点検・評価にあたり、内部質保証推進室・基盤教育センター・FD 委員会および授業担当教員が連携して、履修・修得状況の把握、アンケート実施、学修成果の確認および理解度・満足度の把握を行った。これらの結果をもとに、自己点検・評価を実施し、教育プログラムの改善に取り組んだ。

以下に自己点検・評価の結果を示す。

【学内からの視点】

① プログラムの履修・修得状況

プログラムの履修・修得状況は、本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」の履修・単位修得状況を把握することにより確認した。受講者ごとの課題・演習等の進捗状況は、LMS を活用することにより把握した。

2025 年度は、全学部・学群で、プログラム履修者^{※1}は 1,787 名(再履修者 80 名を含む)、プログラム修了者^{※2}は 1,518 名であった。2022 年度以降の状況を表 1 にまとめる(i-Design 履修生, 科目等履修生, 学期途中の休学・退学者を除く。2026 年 4 月 1 日時点のデータ。)

※1 プログラム履修者:「データサイエンス入門」の履修者

※2 プログラム修了者:「データサイエンス入門」の単位修得者

表 1. プログラム履修者とプログラム修了者(カッコ内は、再履修者の数で、内数)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
プログラム履修者(名)	1,787 (80)	752 (26)	541 (11)	359
プログラム修了者(名)	1,518	583	406	287

② 学修成果

「データサイエンス入門」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学修成果に関する結果を確認し、本教育プログラムの自己点検および評価・改善に活用した。また、課題・演習等の成果物およびディプロマ・ポリシーの到達度を把握することにより、学修成果を確認した。

成績評価を行った結果、2025 年度のプログラム修了率^{※3}は 84.9%(1,518/1,787 名)であることを確認した。2022 年度以降の状況を表 2 にまとめる。

※3 プログラム修了率:(プログラム修了者/プログラム履修者)×100%

表 2. プログラム修了率

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
プログラム修了率	84.9%	77.5%	75.0%	79.9%

③ 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

「データサイエンス入門」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学生の理解度を把握し、自己点検および評価・改善に繋げた。また、授業評価アンケート結果を授業担当教員にフィードバックし、教員自らによる自己点検および評価・改善に活用した。

2025 年度の授業評価アンケート結果は、理解度・満足度ともに肯定的な回答の割合が多く、理解度は「深まった/やや深まった」の回答割合が 94.9%、満足度は「満足/やや満足」の回答割合が 90.3%であることを確認した(別紙参照)。また、5 点満点の加重平均値は、理解度 4.53/5 点、満足度 4.44/5 点となっており、これらの結果から、本教育プログラムに問題がないことを確認した。2022 年度以降の状況を表 3、表 4 にまとめる。

表 3. 授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 回答割合)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
理解度「深まった/やや深まった」	94.9%	93.8%	92.7%	98.3%
満足度「満足/やや満足」	90.3%	90.6%	91.3%	93.9%

表 4. 授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 5 点満点の加重平均値)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
理解度(点)	4.53	4.50	4.43	4.50
満足度(点)	4.44	4.47	4.42	4.55

④ 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本教育プログラムの詳細について Web サイトに掲載して、在学生・入学希望者等へ周知を行っている。また、授業評価アンケートにおける理解度・満足度の結果を踏まえて、関連科目等でのアナウンスを行い、プログラムの履修を推奨している。2025 年度以降入学生から、北方キャンパス(外国語学部、経済学部、文学部、法学部、地域創生学群)では「データサイエンス入門」が必修科目となったため、本授業内でもプログラムの周知を行っている。

⑤ 全学的な履修者数, 履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

本教育プログラムの開設年度は 2022 年度であり(2022 年度以降入学生, 1 年次以降が対象), 2025 年度までのプログラム履修者数合計は 3,322 名, プログラム履修率は 59.4%※4となった。2025 年度以降入学生から、北方キャンパスでは「データサイエンス入門」が必修科目となったため、履修者数合計および履修率は増加しており、2026 年度以降も増加すると見込める。2022 年度以降の状況を表 5 にまとめる。

本教育プログラムの詳細は Web サイトに掲載して学生へ周知するとともに、関連科目等でのアナウンスを行っている。引き続き、履修者数・履修率の向上に向けた取り組みを行う。

※4 プログラム履修率:(履修者数累積/収容定員 5,596 名)×100%

表 5. プログラム履修者数合計とプログラム履修率

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度
プログラム履修者数合計(名)	3,322	1,615	889	359
プログラム履修率	59.4%	28.9%	15.9%	6.42%

【学外からの視点】

① 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

2025 年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には進路、活躍状況、企業等の評価を把握し、本教育プログラムの改善の参考とする予定である。

② 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

2025 年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には本教育プログラム内容・手法等に対する企業等からの意見を把握し、教育プログラムの改善の参考とする予定である。

【その他】

① 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

「データサイエンス入門」の受講者に対して、データサイエンスに関するイメージ調査を行い、その結果を踏まえ「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえるような講義内容を検討し、授業を実施した。また、授業評価アンケートの結果を踏まえ、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げ、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえるような教育プログラムを検討した。

2025 年度の受講前・受講後のイメージ調査結果(回答割合)は、

面白い/やや面白い:受講前 45.0% → 受講後 61.4%

好き/やや好き:受講前 27.3% → 受講後 45.1%

必要/やや必要:受講前 89.6% → 受講後 96.3%

であった。受講前と比較すると、受講後の方が肯定的な回答の割合が増加しており、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえる内容になっていることを確認した。2025 年度の結果を表 6 にまとめる。

表 6. イメージ調査結果(回答割合, 2025 年度)

区分	2025 年度	
	受講前	受講後
面白い/やや面白い	45.0%	61.4%
好き/やや好き	27.3%	45.1%
必要/やや必要	89.6%	96.3%

ただし、2025 年度の結果は 2022～2024 年度の結果(表 7)と比較すると、肯定的な回答の割合が減少している。2022～2024 年度入学生に対しては、「データサイエンス入門」を選択科目として開講していたが、2025 年度入学生より、北方キャンパスでは必修科目として開講している。そのため、必ずしもデータサイエンス・AI に興味のある学生だけが受講しているとは限らないことに留意し、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえような講義を実施する必要がある。

表 7. イメージ調査結果(回答割合, 2022～2024 年度)

区分	2024 年度			2023 年度			2022 年度		
	履修前	受講前	受講後	履修前	受講前	受講後	履修前	受講前	受講後
面白い/やや面白い	37.5%	51.9%	76.6%	39.8%	57.7%	83.6%	32.5%	64.8%	79.5%
好き/やや好き	19.1%	31.3%	61.7%	21.2%	41.1%	98.0%	15.2%	43.9%	66.7%
必要/やや必要	85.0%	91.8%	98.2%	75.9%	90.2%	98.2%	69.1%	92.2%	97.5%

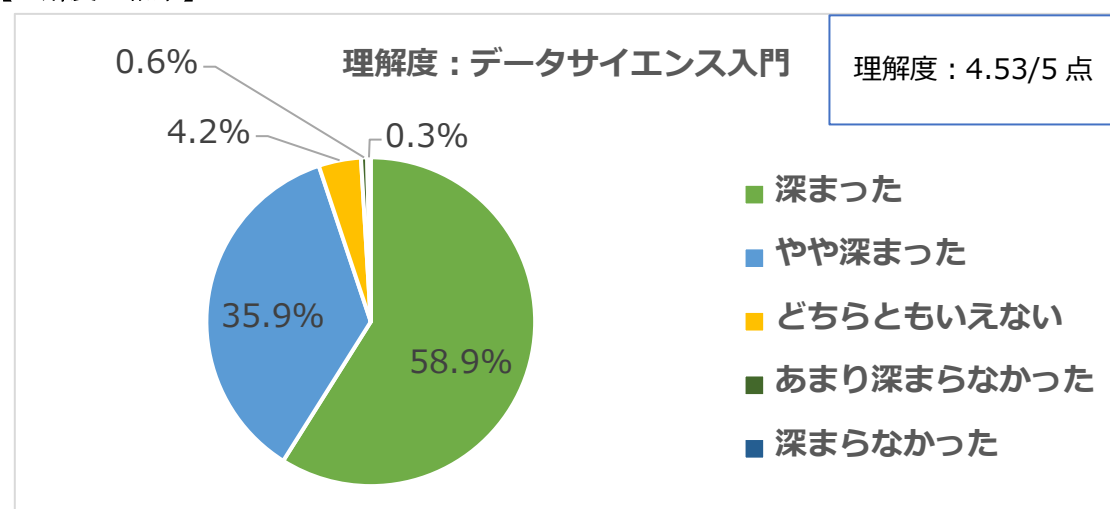
② 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

授業評価アンケートにより、学生の理解度を把握し、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げた。また、授業評価アンケート結果を授業担当教員にフィードバックすることにより、内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となるように、教員自らによる自己点検および評価・改善も行なった。

別紙:2025 年度「データサイエンス入門」授業評価アンケート結果(理解度と満足度)

1 学期に北方キャンパス(外国語学部, 経済学部, 文学部, 法学部, 地域創生学群)の1 年生を対象として, 「データサイエンス入門」の対面授業(必修)を 13 クラス実施した。また, 2 学期には, 対面授業 1 クラス(北方キャンパス学生対象), メディア授業 2 クラス(北方キャンパス学生とひびきのキャンパス(国際環境工学部) 学生を対象)実施した。科目全体の授業評価アンケート結果(理解度, 満足度)を以下に示す。結果から, 理解度・満足度ともに肯定的な回答が多いことが確認できる。

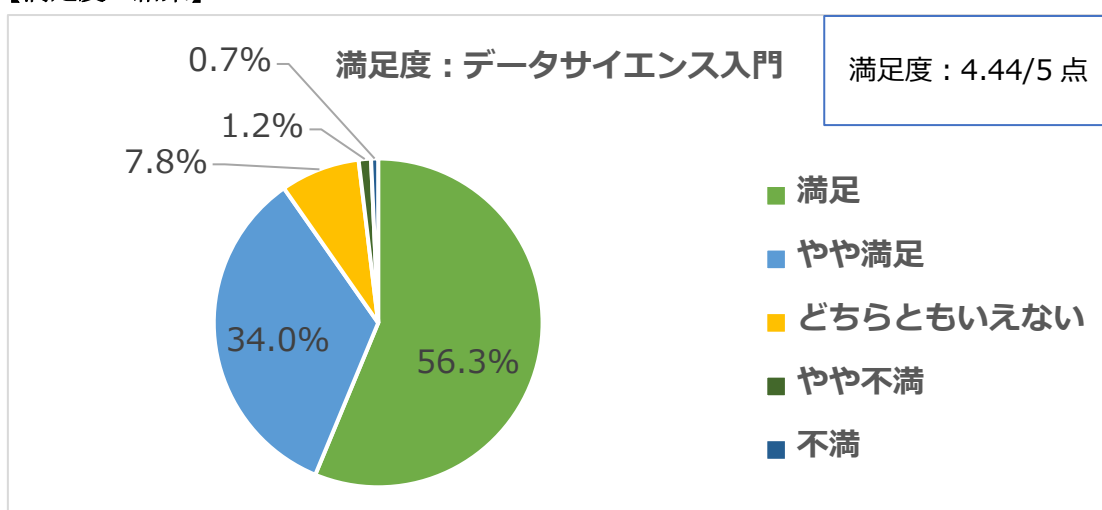
【理解度の結果】



5 点満点の加重平均値

$$\text{理解度} = [\text{深まった}(\%) \times 5 \text{ 点} + \text{やや深まった}(\%) \times 4 \text{ 点} + \text{どちらともいえない}(\%) \times 3 \text{ 点} + \text{あまり深まらなかった}(\%) \times 2 \text{ 点} + \text{深まらなかった}(\%) \times 1 \text{ 点}] / 100$$

【満足度の結果】



5 点満点の加重平均値

$$\text{満足度} = [\text{満足}(\%) \times 5 \text{ 点} + \text{やや満足}(\%) \times 4 \text{ 点} + \text{どちらともいえない}(\%) \times 3 \text{ 点} + \text{やや不満}(\%) \times 2 \text{ 点} + \text{不満}(\%) \times 1 \text{ 点}] / 100$$